

デジタル田園健康特区 茅野市
～中山間地域の課題解決の先駆的モデルを目指して～

2023年3月16日
茅野市長 今井 敦

在宅医療×交通の課題解決による地域活性化と持続可能な地域社会の実現を目指す



当市では、人口減少、少子高齢化による地域や経済の担い手不足のほか、限られた医療施設で全市域をカバーする移動・物流コストの高さが大きな課題。規制改革とDXによる課題解決を通じ、市民の健康に様々な機能が連携して寄り添うまちを実現したい。

地域の実情に応じた質の高い効率的な医療提供体制の構築(厚労省方針)

地域の担い手不足の解消(専門職間の連携の促進等)

中山間地域の課題解消(医療資源の偏在、非効率な交通・物流等)

地域まるごと
病院機能
(地域資源の有機的連携)

「規制改革」と「DX」による地域課題解決

在宅医療

持続可能な在宅医療の提供

①医療関係者間の役割の見直し



規制改革
在宅医療における連携の促進

②患者の負担軽減



規制改革
医薬品等の効率的配送

③医療関係者間の情報共有の促進



DX
医療関係者間のコミュニケーション促進

交通

地域における交通手段の見直しと確保

①低廉で利便性の高い移動手段



DX
AI乗合オンデマンド交通「のらぎあ」

②公共交通から自宅までの自己移動手段



規制改革
別荘地域におけるシニアカーの制限速度の緩和



在宅医療

規制改革

在宅医療における連携の促進

(概要)

- 在宅医療に関わる医療関係者間の役割の見直し(チーム医療の実現)
 - 患者の状態把握へのデジタルツール活用(患者の見守り機能の充実)
 - 薬剤師を含む医療関係者の連携強化(在宅患者への関与の充実)
- ➔訪問医療に関わる現場の負担軽減とケアの質向上

※諏訪中央病院、地元医師会、薬剤師会、訪問看護ステーションと協議中

規制改革

医薬品等の効率的配送

(概要)

- 過疎地域に指定されない中山間地域でのタクシー事業者による貨客混載運送の実現
- ➔患者の医薬品の受け取りに係る負担軽減

※2023年秋以降の実証に向けて地元薬剤師会、タクシー事業協同組合と協議中

患者・医療関係者の負担軽減
在宅医療の質の向上

交通

DX

AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」

(概要)

- 行きたいときに行きたい場所へ、AIがルート設定と配車を行う乗合輸送
- ➔市街地における低廉で利便性の高い移動手段の確保

※生活バス路線計13路線を廃止のうえ実装済み
(2023年2月の日平均利用者数は約140人)

規制改革

別荘地域におけるシニアカーの制限速度の緩和

(概要)

- 広大な別荘敷地内における、シニアカーの制限速度の緩和
- ➔主に高齢者を対象としたラストワンマイル・モビリティとしての新たな自己移動手段の確保

※2023年夏以降の実証に向けてヤマハ発動機(株)と検討中

市街地・中山間地における移動の自由と効率性の確保



全国の中山間地域のモデル都市へ

(参考)現在の取組状況と今後の方向性



医療・福祉・子育て

検討中
在宅医療領域
タスクシフト推進



在宅医療関係者の
役割の見直し

※R4~
コミュニケーション
ツール導入



在宅医療関係者の
連携促進

※R4~
施設のケア
環境高度化



老健施設の
スマート居室化

※R4~
ちのカル



健康医療情報
の蓄積・閲覧

実装済み
保護者との
連絡の電子化



体調報告・
お便りの電子化

R5~
電子母子
健康手帳



母子の状態に
合わせた情報発信

交通

実装済み
AI乗合オンデマンド交通
のらざあ



自由な移動の
実現

R5秋以降の
実証に向け調整中
医薬品等の
効率的配送



タクシーによる
医薬品の貨客
混載運送

R5夏以降の
実証に向け調整中
シニアカー
増速



別荘地での
移動手手段の確保

都市OS(データ連携基盤) ※R4~

市民サービスの入口



※市民ポータル



市民

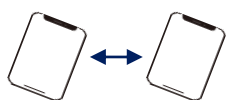
コミュニティ

R5~
回覧板の
電子化



モデル地区に
よる実証実験

今後検討予定
コミュニケーション
ツール導入



区・自治会役員
の負担軽減など

観光・商業

R5~
情報発信・
地域ポイント



ポイント制導入
による顧客の
獲得・管理

※R4~
ヤマレコ



登山情報の
共有

R5~
バス・ローケ
ションシステム



ハイランドシャトル
による実証実験

※はデジタル田園都市国家構想推進交付金を活用

凡例 DX関連事業
デジタル田園健康特区関連事業